

蔵王・丸山沢・前山周遊 山スキー

T野

メンバー：T野・I崎・K林・A原

2026年3月28日～29日



丸山沢は昨年8月に沢登りで訪れた。20m以上の巨瀑がいくつもある岩壁に囲まれたゴルジュの沢で、見た目は無茶苦茶険悪そうな沢だが、ルーファイを間違えなければ意外にも快適な遡行ができる痛快な沢だった。そして、以前からここは3月～4月には山スキールートとしても秀逸だということを記録で読んで知っていた。あのいくつもある巨瀑が全て雪に埋まるとはとても思えず、もしそうなら是非見てみたいと思っていた。まだ沢登りの記憶が鮮やかなうちにぜひ行ってみたい！！そのタイミングとしては今がベストである。そんなことを考えていたので今回、丸山沢をメインに、前山の周遊ルートを合わせて訪れることにした。

■写真上 夏の丸山沢は巨瀑の連続。

■写真下 岩壁に囲まれた巨瀑とゴルジュの沢だ。ここに雪が積もると快適な山スキールートになるのだからちょっと信じられない。

3/27

いつものように夜、東川口駅を出発、佐野新都心の駐車場でI崎さんと合流して、今回初めて泊まる飯坂温泉の某宿に向かう。深夜割引の権利を得るため、吾妻PAで少し時間調整して無事、割引料金をゲット。今回泊まった宿は値段で探したのだが、築100年以上の古民家で情緒があり次回はもうすこしゆっくり泊まってみたい宿であった。これまたいつものように入山祝いをして就寝。

3/28 蔵王・丸山沢



スキー場を下から歩いている記録が多いのでそのつもりで6時頃には宿を出発。朝食を採ったり行動食を買ったりして澄川スキー場に着いたのは7:30頃になってしまった。リフトは9:00が始発。リフトトップまでの標高差は約270m、距離が結構あるから歩けば1時間以上かかりそうだ。これは悩ましい。歩くべきかリフトの始発を待つべきか……。結局、体力の消耗を防ぐためにリフト(3回券¥2100)を選択した。

労せずして標高1375m付近までリフトで登り9:30出発。明瞭なトレースはないがどこでも登って行けそうなので適当に登って行くと1540m付近でエコーラインと合流する。この辺りはまだ除雪されていない。すぐにエコーラインを離れ刈田岳に直接登るトレースに行く。快調に登って行くと10:39刈田岳着。途中休憩なしで登れてしまい、幸先の良いスタートだ。

晴天だが春霞がかかり、遠望は利かないが眼下にまだ冬の装いの蔵王名物お釜が静かに佇んでいる。目を転ずれば前山～杉ヶ峰～屏風岳と続く南蔵王の稜線がたおやかに横たわり、進む方向に目を向けると名号峰や思いのほか立派な山容の雁戸山が霞む。

■写真上 快調に刈田岳を目指す。

■写真中 お釜バックに刈田岳山頂でパチリ。

■写真下 静かに佇んでいる冬のお釜。

主峰、熊野岳に続く馬の背を滑降開始点目指して歩く。さすがにここは蔵王でも有数の強風地帯だけあって風が強い。避難小屋のすぐ横まで歩き、シール



を外して滑降準備をしてさあ、滑降だ。果たして鬼が出るが蛇が出るか、はたまた極楽が待っているか？緊張感をもって滑降開始！！

滑りの良いシャウダー！！良い雪である。最初は傾斜の緩い大斜面だが徐々にじょうろのように狭まり傾斜も急になる、その様はまるで砂時計のようで、僕たちは砂のように急斜面を落ちていく。ただ、滝らしいものは全くない。全て雪の中に埋まっているのだろうか？あの巨瀑の連続が全て雪の中に・・・？豪雪地帯、という程でもないこの地で・・・？いったいどのくらいの雪があればあの巨瀑の連続を覆いつくすのか？

ただ、滑るにはまことに都合の良い滑りごろの急斜面である。雪質もほど良いザラメで申し分ない。所々傾斜が急になるが、そこがきっと巨瀑が隠されている所なのだろう。

■写真上 しつこくお釜バックに。

■写真中 丸山沢上部は快適な大斜面！！

■写真下 傾斜は急になってきたが滝はない。

概ね快適な斜面が続く。夢中で滑って行くと見覚えのある新噴気孔が見えてくる。ここで丸山沢の核心部は終了、標高差約600m・・・終わってみればむしろあっけないくらいだった。しかし、緊張感マックスの凝縮した充実の時間



であった。また機会があればぜひ訪れてみたいルートであった。

丸山沢の滑降は沢登りとセットで訪れることを特にお勧めしたい。雪の状態が良ければ、そこそこの急斜面を問題なく滑れる人なら特に難しいルートではない。ただ、きっと無雪期とのギャップには驚くに違いないだろう。

さて、沢は開け、ここからまだしばらくは快適に滑れるが、尾根を巻き込む辺りから濁川まではアップダウンがありシールで歩く。最後は結構急斜面を降りるのでシールで降りるのはちょっと難しい。ここは面倒でもシールを外して滑った方が良いかもしれない。

濁川はラッキーなことにスノーブリッジがあり難なく渡れた。ただ、ここからの標高差約200mの板を担いだ急登は堪えた。「これがないと素晴らしいルート！！」という記述があったが、まったく同感である。雪が多ければ、ここを登らずに幾々温泉まで滑って降りることもできるであろう。まあ、今年は望むべくもないが、そういう条件に恵まれば車の回収の問題はあるもののぜひ訪れてみたいルートである。

■写真上 ゴルジュっぼいが滝は出てこない。

■写真中 ここも夏は巨瀑があるところだけど滝は埋まっている。

■写真下 あれよあれよという間に新噴気孔！！核心部はあっけなく通り過ぎた！！



さて 200m の急登を何とか終え、再びシールで少し歩き、下り気味になったのでシールを外して滑ることにする。ただ、これは失敗だった。手漕ぎが結構ありシールでのんびり歩いた方が快適だったと思う。さらに、除雪されたエコーラインを横切り、適当に滑り始めたが、これがとんでもない藪スキーで、滑降というより、ただなんとなく降りたという感じでスキー場のベースまでは試練の滑りであった。

■写真上 丸山沢源頭には我々のシュプールが・・・！！

■写真下 あとは帰るだけ。



家に帰って記録を調べてみると、雪が少ない時は、エコーラインを渡ったら標高を下げずに南に歩き、スキー場の第3リフト乗り場付近に出るのが正解のようだ。そうすれば藪スキーは全くしないで

済む。また、これも覚え書きだが避難小屋から北側の八方沢源頭は標高差 250m 位のいい感じの斜面があり、丸山沢とセットで滑れば、滑り派にとってはさらに完成度の高いツアーとなるだろう。

充実のツアーを終え、遠刈田温泉で汗を流し、ラーメンで下山飯の後は、買い出しして今日の宿に向かう。スキー場から約1時間、1泊¥3000以下、自炊施設もありオーナーもフレンドリーで素晴らしいこの某宿は、いつものことだがA原さんが捜しあてた。

メンバー全員が最高評価！！今後の蔵王周辺の山旅には定番の宿になるだろう。

◆コースタイム

第3リフトトップ (9:30) ~ (10:39) 刈田岳 (10:45) ~ (11:39) 避難小屋横の滑降開始地点 (11:52) ~ (12:06) 新噴気孔 (12:26) ~ (13:02) 濁沢 (13:06) ~ (14:15) エコーライン蔵王寺パーキング ~ (14:45) スキー場駐車場

3/29 南蔵王・前山周遊



昨日、充実したので天気が悪ければ簡単に日和るところだが今日も絶好の山スキー日和。これは出かけないわけにはいかない。出発点は昨日と一緒に澄川スキー場。リフトの始発(9:00)に間に合うように8時前に宿を出る。昨日同様リフト3本乗り継ぎ、エコーラインまでは同じルートを登る。エコーラインから刈田岳に登るトレースを分けて、しばらくエコーラインを辿る。刈田岳から落ちる大斜面を右手に見ながら歩き、途中でエコーラインを離れ刈田峠方面に歩く。刈田峠からひと登りで前山山頂だ。急登もなく全くのスキーハイキングで昨日のクールダウンにはちょうどいいルートだ。今日も春霞で遠望は利かないが近くの間はよく見える。「さて、どこを滑ろうか」と斜面を見下ろすと杉ヶ峰寄りの斜面が枯れ木の疎林で気持ちよさそうだ。「よし、今日はここを滑ろう!!!」

■写真上 刈田岳を見上げながら今日も歩く。

■写真中 枯れ木の疎林の先に今日の目的地の前山を望む。

■写真下 刈田峠の避難小屋と前山。

準備を整えて滑降開始!!



今日も走りの良いシャウダー！！とても良い雪だ。標高差約 250mを気持ち良く滑降！！ここまでは最高のスキーツアーだった。ただ、ここからは昨日の藪スキーよりはるかにマシだがすっきりしないルートが続く。滑るというより降りるという感じで、これがスキー場に合流するまで約1時間 20分続くのだ。ルートも今一つはつきりせず、平坦でストック漕ぎ区間やシールを貼るほどではないちょっとした登りもあり快適とは程遠い。

■写真上 杉ヶ峰バックに前山山頂でパチリ。

■写真下 快適なシャウダー！！前山の大斜面。



個人の意見だが、ここは前山を快適に滑ったらシールを貼って金吹沢沿いを登り返し、そのまま刈田岳まで登って井戸沢沿いの大斜面を滑降して、登路を滑り降りた方がはるかにすっきりしていて滑降も楽しめそう。次回があるならこのルートで行きたい。ただ、

雪の量によっては今回のルートも快適なのかもしれないので状況次第なのだろうが・・・。

まあ、いずれにしても4時間ほどの半日ルートなので、お疲れ気味の我々にとってはちょうど良かったのかもしれない。

今日の温泉は共同浴場「神の湯」、リーズナブルだが石鹸の類は用意されていないので持参する必要がある。下山飯は安達太良SAの五目焼きそば！！これは定番である。

今回、2日間とも好天に恵まれ、前から夢見ていた丸山沢も滑ることができ、泊まった宿も最高！！もちろんメンバーも最高！！と素晴らしい2日間でした。最近、暖かい日が多く、日に日に雪が解けてきて寂しいが、まだもう少し山スキーを楽しみたいと思っている今日この頃です。

◆コースタイム

第3リフトトップ (9:28) ~ (10:45) 刈田峠 ~ (11:08) 前山 (11:32) ~ (11:44) 峠ノ沢 1415m付近 (12:06) ~ (13:28) グレンデベース